

登録コード	UAA17500	開講年度	2026			
授業題目	英米言語文化総合演習				担当教員	伊藤 尽
					副担当	飯岡 詩朗
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・5時限	
				授業形態	演習	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				古英語文献の中で最も有名かつ最も重要な作品のひとつ『ベオウルフ』を古英語で読み理解することで、英語学・英語文献学・英語史に関する研究の基礎となる様々な事象に出会い、それらを学問的に理解/解決することができるようになる	
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				古英語のみならず、現代英語で書かれた専門書・論文を熟読し、理解し、批評することで英語運用能力を高めることができるようになる	
	【人間文化学】高度な言語運用能力とコミュニケーション能力を基盤として、多領域のステークホルダーと協働し、現代社会の課題に取り組みながら、独創的かつ多文化共生的な英知の創成と提案を行う力を有する。				今から1000年以上前に書かれた文献に描かれた人間や自然の描写の理解を通じて、多様な文化的な側面を理解することができるようになる	
	【人間文化学】人間文化に関わる地域中核人材・研究者・教育者として備わっているべき高い倫理観を有する。				古英語・中世英語文献学について、深く広く先行研究に精通することで、研究のノウハウを修得できるようになる	
(2)授業の概要	古英語文献『ベオウルフ』の最も重要な校訂本を利用し、古英語文献読解の初歩から応用までを体験し、英語文献学、神話学、伝承学などの基礎を学ぶとともに、現在の多くのファンタジー作品の原点としてのイギリス文学の最高峰の作品を味わう演習形式の授業です。 Glossaryを徹底的に用いる方法を会得します。					
(3)授業計画	第1回：オリエンテーション、テキスト紹介とglossaryの使い方、参考文献解説、Introductory Partsの読解演習 第2回：古英語文法初歩：Sweet's Anglo-Saxon Primerの文法編読解 第3回：Proem読解と議論：II.1-52: Scyld Scefingについて 第4回：14th Fit読解と議論：II.925-990: Hrothgarのベオウルフへの労い 第5回：15th Fit読解と議論：II.991-1049: ベオウルフが賜った宝物について 第6回：16th Fit読解と議論：II.1050-1124: Finnsburgのエピソードの始まり 第7回：17th Fit 読解と議論：II.1125-1191: Finnsburgのエピソードの終とハイパーメトリック・ラインについて 第8回：18th Fit読解と議論：II.1192-1250: 東ゴート王国エルマナリッチとブローシガメネと北欧神話について 第9回：19th Fit読解と議論：II.1251-1320: Grendel's Motherの襲来 第10回：20th Fits読解と議論：II.1321-1382; Hrothgarの嘆きとGrendel母子の情報 第11回：21st Fit読解と議論：II. 1383-1472: ベオウルフの決意と戦いの準備 第12回：22nd Fit読解と議論：II. 1473-1556: Grendel's Motherの棲家に向かうベオウルフ 第13回：23rd Fit読解と議論：II. 1557-1650: Grendel's Motherの討伐とベオウルフの帰還 第14回：24th Fit読解と議論：II.1651-1739: ベオウルフの科白とHrothgarの応対、王ヘレモードへの言及 第15回：25th Fit 読解と議論：II.1740-1817: 帰路につくベオウルフ					
(4)成績評価の方法	授業内の発表を80％ 期末レポートを20％ として総合的に評価します。					
(5)成績評価の基準	Glossaryを不足無く活用出来ていれば「標準」と GlossaryとNotesを不足無く活用出来ていれば「やや上回る」と Glossary とNotesを利用して、解説を論じられれば「かなり上回る」と Glossary, Notes, 他の先行研究をも踏まえることが出来れば「卓越している」と 評価します					
(6)事前事後学習の内容	事前学習はオリエンテーションで学んだとおりGlossaryとNotesを用いて、テキストの読解に努めること。 事後学習は、授業内で学んだ復習をして、予習時に分らなかったことを自分の実力にすること。					
(7)履修上の注意	学部の英語史Iの授業を履修していることが望ましいけれど、英語史Iの未履修者の履修を拒むものではありません。					
(8)質問,相談への対応	質問は基本的にメールによる質問を受け付けます。 メールアドレスは信州大学アカウントの前j-tksitoです。 必要があれば、リサーチミーティングも行うので、アポを取って下さい。					
【教科書】	R. D. Fulk, Robert E. Bjork and John D. Niles, eds. Klaeber's Beowulf. 4th edition. University of Toronto Press, 2008. ISBN 978-0802095671 [大学中央図書館および英語学資料室に収蔵されています]					
【参考書】	[初回授業で解説します] Robert E. Bjork and John D. Niles, eds. A Beowulf Handbook. University of Nebraska Press, 1997. 忍足欣四郎訳『中世イギリス英雄叙事詩 ベオウルフ』岩波文庫, 1990年。 刈部恒徳著『「ベオウルフ」の物語世界』					

【参考書】	厨川文夫訳『ペーオウルフ：附フィンズブルフの戦』岩波文庫，1941年． [上記文献は大学中央図書館に収蔵されています] 吉見昭徳訳『古英語叙事詩『ペーオウルフ』：クレーバー第4版対訳』春風社，2018年．
-------	--